



「宮城県名取市海岸林再生の会」は海岸林再生プロジェクトの中核団体である。公益財団法人オイスカのサポートのもと、地元森林組合、種苗組合、国、県、市等と連携し、東日本大震災で被害を受けた松林を再生させるために地元の農家、ボランティアの受け入れを行っている。

## 「白砂青松」の再現を目指して ～名取市海岸林再生プロジェクト～

### 松林と歩んできた北釜地区

宮城県名取市下増田は古くから北釜地区と呼ばれている。海岸沿いには松林があり、海岸林100ha、農地70ha、居住地30haで約400人がビニールハウスでメロンやチンゲンサイを栽培しながら生活していた。名取市の海岸林の歴史は古く、一説では伊達政宗公が領内の砂浜への造林を命じたともいわれており、江戸時代前半にはすでに完成していた人工林で、防災、防風、防砂、防潮の役割を果たしていた。また、昭和40年代までは地元住民にきのこなど森の恵みや、貴重な燃料である枯れ落ちた松葉をもたらししてくれる、生活に根差した場所であった。

しかし、東日本大震災によって、北釜地区でも56名の方が犠牲となり、松林も大きな被害を受けた。現



地元農家の方との育苗作業の様子  
(写真提供：公益財団法人オイスカ)

在も危険地域に指定されており、住宅を建てられる地域ではない。

### 松林の再生とオイスカとの出会い

2011年5月24日名取市立第二中学校。避難所生活をしていたところに公益財団法人オイスカ（以下、オイスカ）のメンバーがやってきて「海岸林の再生の手伝いをしたい」と話があった。オイスカという団体を誰も知らず、当時、避難所では日々の生活の見通しも立たず、聞いたことのない団体が急に手伝いたいと言ってきたことに聞く耳を持つ人はいなかった。しかし、その夜にオイスカとの橋渡し役であった教員時代の教え子と再会する。彼からオイスカについて話を聞くと主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動をしており、特に人材育成に力をいれているNGOということであった。計画は「10年計画、10億円を集め、50万本の黒松の植林」というものだ。私は、先祖が開拓した北釜地区を復興するため、地域のために、支援をお願いすることにした。

### 苗木栽培からの一貫体制

プロジェクトを進めるにあたり、こちらか一つ提案をした。ただ苗を買い、ボランティアの協力を得て、植えるだけでは地元のためにならない。「地元の被災農家を雇い、種から苗を植え、育てたい。賃金を払うことで生活の支えになりたい。一時的な支援ではなく、長きにわたって、持続可能なプロジェクトとして地元で根づく活動にしていきたい」と話し、理解してもらうことができた。



### PROFILE ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

宮城県名取市海岸林再生の会  
会長 鈴木 英二

宮城県名取市海岸林再生の会  
宮城県名取市下増田字北原東478  
TEL 022-395-7811 FAX 022-395-7817

一年間かけて準備し、2012年2月29日、私はオイスカの海岸林再生プロジェクトにおける地元の活動の基盤となる「宮城県名取市海岸林再生の会」の会長となった。地元の種苗組合にも参加し、森林組合からもアドバイスをもらいながら、地元で採用した農家と種から育苗を行っていった。育苗、植栽、育林の一貫体制を確立し、低コストで活着率（苗が根付いて成長すること）がほぼ100%という驚異の結果を出した。

オイスカは国や県、市等と協定を結び、約100haに植林するという大規模協定を締結し、国内外の一般市民、団体、企業等の支援者から寄付や、ボランティアを集めてくれている。また、研究機関、専門家からの知識、ノウハウ等を提供してくれている。オイスカからの支援によりこのプロジェクトは成り立っている。

やがて、この活動は認められ、2017年3月に松の苗木コンクールで宮城県知事賞、7月に第一回インフラメンテナンス大賞で農林水産大臣賞、9月に全国山林苗木品評会で林野庁長官賞を受賞、また国土緑化推進機構からも表彰された。

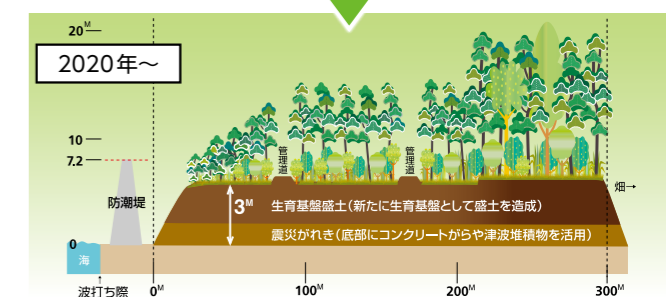
### プロジェクトのこれから

現在2011年から始まったプロジェクトは10年計画の9年目である。植栽は95%が完了。寄付額も7億円（2019年4月）を突破した。これまで延べ6140人の雇用を創出し、9427名のボランティアの方が参加（2018年1月）した。海岸林は徐々に再生され、さまざまな生物の多様性をはぐくんでいる。この活動は今後の「名取市海岸林を守る会」（仮称）へと継承され、2033年度まで育林、管理へと次のプロジェクトに発展していく。私は現在オイスカやさまざまな人々、団体から受けた“感謝”を還元すべく、オイスカとともに、海外の農業・林業支援へと活動の場を広げている。

### すずき・えいじ

1941年 4月 3日生まれ  
1962年 4月 宮城県教員として勤務  
1971年 3月 宮城県教員を退職  
1978年 1月 有限会社三英駐車場設立  
2012年 2月 名取市海岸林再生の会結成 会長就任  
2015年12月 株式会社名取北釜ファーム設立  
株式会社エヌ・ケー・エフ設立

### 名取市海岸林再生の経過及び今後の計画



(写真提供) 上から1枚目、2枚目公益財団法人オイスカ  
3枚目:林野庁東北森林管理局仙台森林管理署  
4枚目:林野庁「東日本大震災に係る海岸防災林再生に関する検討会」  
資料を元に公益財団法人オイスカが作成